

学習成果を軸とした 質保証システムのありかた

—保証すべき「質」とは何か—

2010. 8. 2

Benesse教育研究開発センター
センター長 新井健一

◆ベネッセ教育研究開発センターの活動

教育に関する調査、研究、開発

- 教育に関する実態調査
- 高等教育に関する調査、研究
- I C Tなどの情報機器を利用した新しい学習方法に関する研究
- 英語の習得や英語教育の実態に関する調査、研究
- 能力・スキルの育成と測定に関する研究
- 産学連携、大学、研究機関との共同研究

調査、研究内容の情報発信

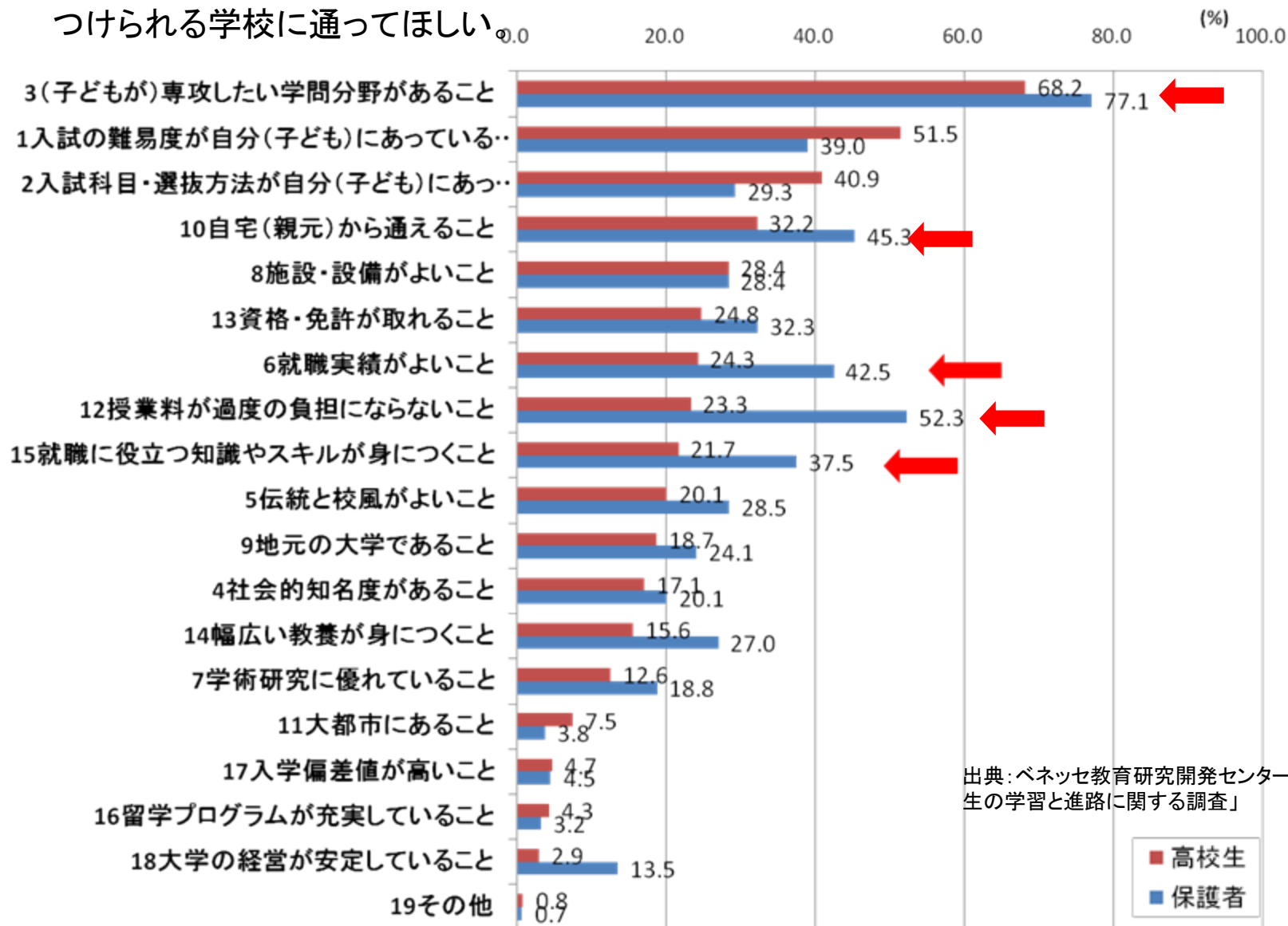
- ご家庭、研究者、教育委員会等行政、学校、幼稚園等への情報提供
情報誌（進研ゼミ、VIEW21、これからの幼児教育を考える）、メディア
- ホームページを通じた幅広い発信

ベネッセ教育研究開発センター サイト <http://benesse.jp/berd/> 2

1. 高校生/保護者にとっての 大学選択の観点

1-1: 大学選択の際に重視すること(保護者+高校生)

保護者の願い=こどもの好きな分野で、⇒ 経済的負担が軽く、⇒就職できる力を身につけられる学校に通ってほしい



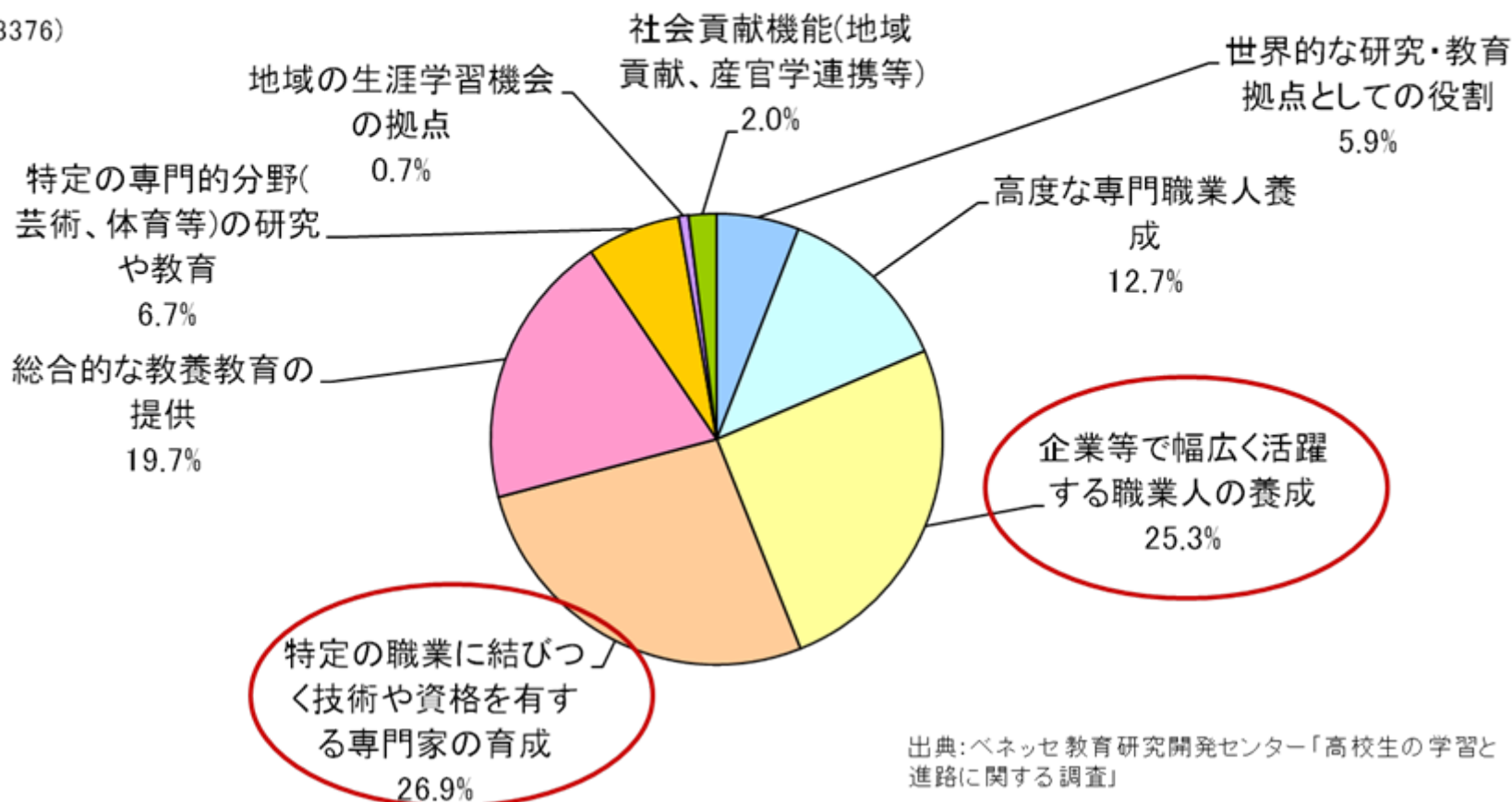
1-2. 保護者がのぞむ、大学の機能・役割

[Q]あなたは、お子さんが進学される大学が重点を置く役割として、主にどのようなことを期待しますか。

以下の中から、もっとも当てはまるものをお選びください。(1つだけ)

※なお、すでに進学が決まっている方は、それに基づいてお答えください。

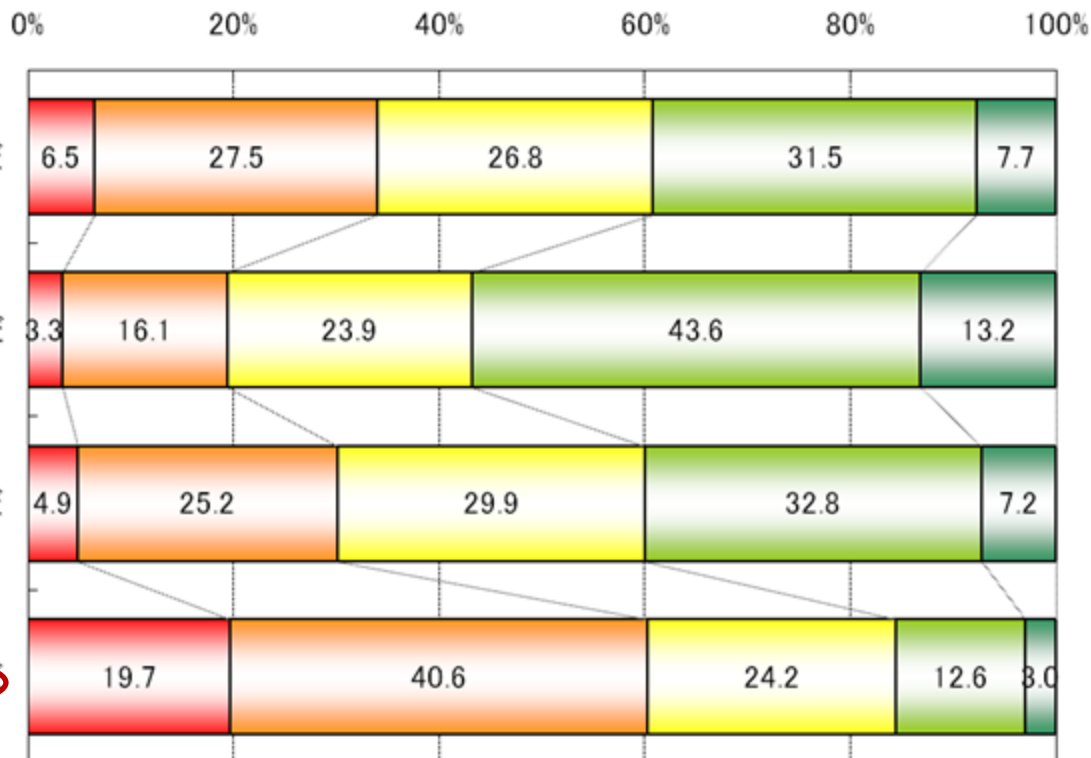
(n=3376)



1-3: 親が思う、子どもの大学進学に際しての心配ごと

[Q]あなたの希望通り、あなたのお子さんが大学へ進学した場合、あなたは次のようなことについてどの程度当てはまりますか。
それぞれについて、もっとも当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)

☐ とても当てはまる ☐ まあ当てはまる ☐ どちらともいえない
☐ あまり当てはまらない ☐ まったく当てはまらない



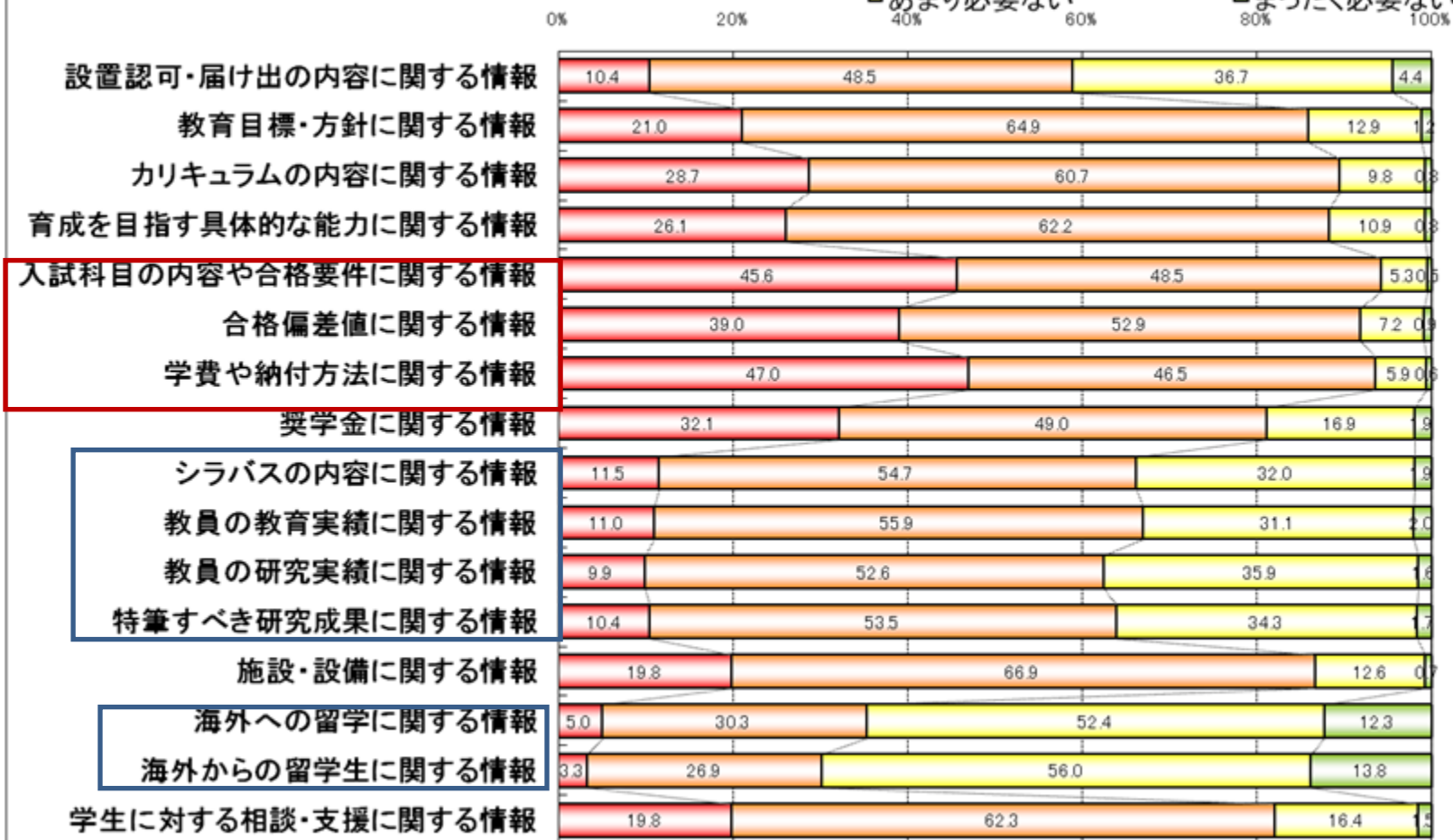
出典: ベネッセ教育研究開発センター「高校生の学習と進路に関する調査」

1-4: 子どもの進学先を選ぶために必要な情報(その1)

大学選びに際して大学の就職実績情報は、もはや入試に必要な偏差値や合格要件などの情報と、同じかそれ以上の重みを持っている。

[Q]お子さんが進学される「大学を適切に選ぶにあたって」、どのような情報が必要だと思いますか。(それぞれ1つずつ)

□大いに必要
□あまり必要ない
□まあ必要
□まったく必要ない



出典: ベネッセ教育研究開発センター「高校生の学習と進路に関する調査」

(C) Benesse Corporation 無断転載を禁じます

1-5: 子どもの進学先を選ぶために必要な情報(その2)

[Q]お子さんが進学される「大学を適切に選ぶにあたって」、どのような情報が必要だと思いますか。(それぞれ1つずつ)

□大いに必要 □まあ必要 □あまり必要ない □まったく必要ない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

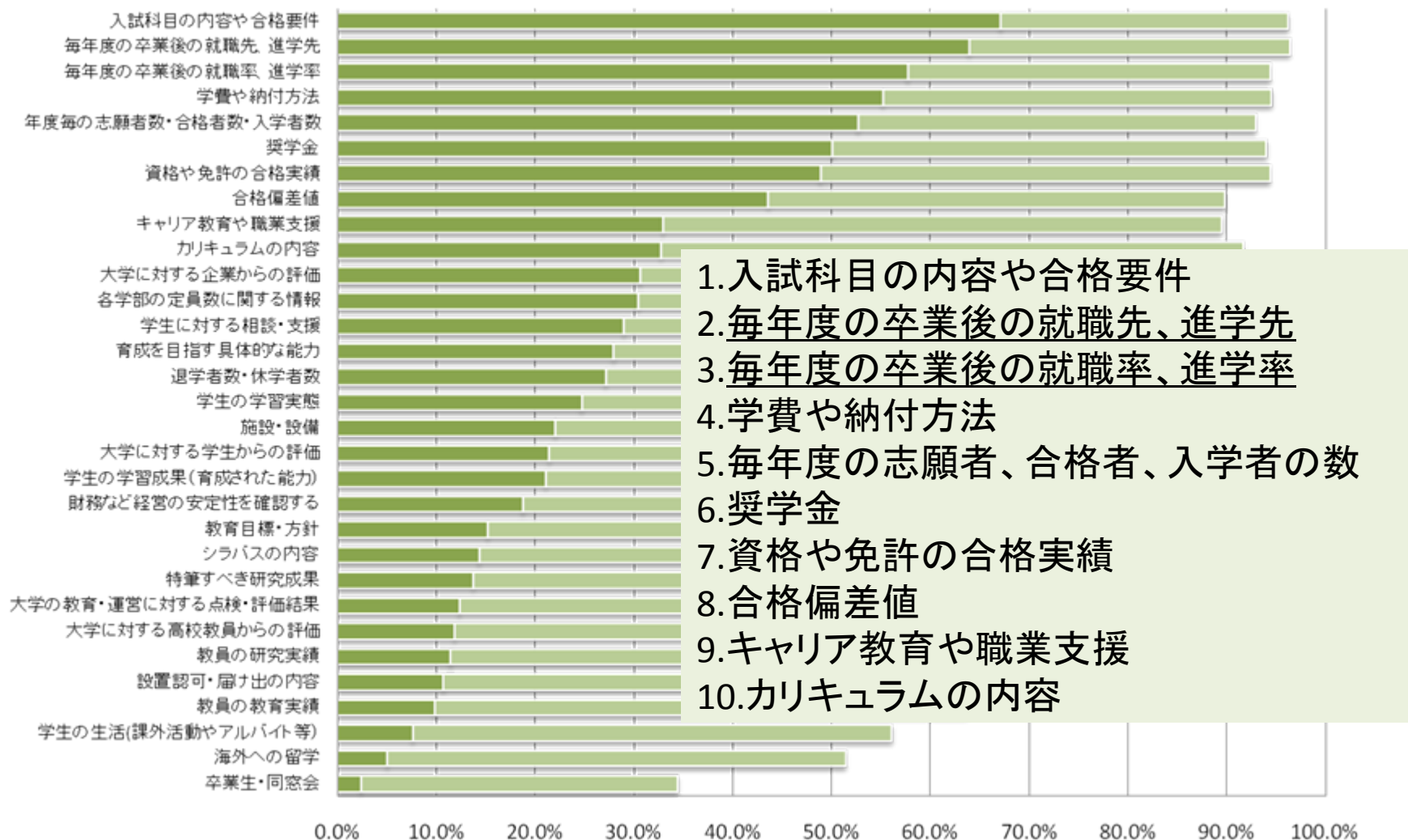


2. 高校教員の進路指導・大学改革 に関する意識

2-1. 進路指導において必要な情報は何か？

進路指導において必要な情報(全体「大いに必要」の高い順)

■ 大いに必要 ■ まあ必要



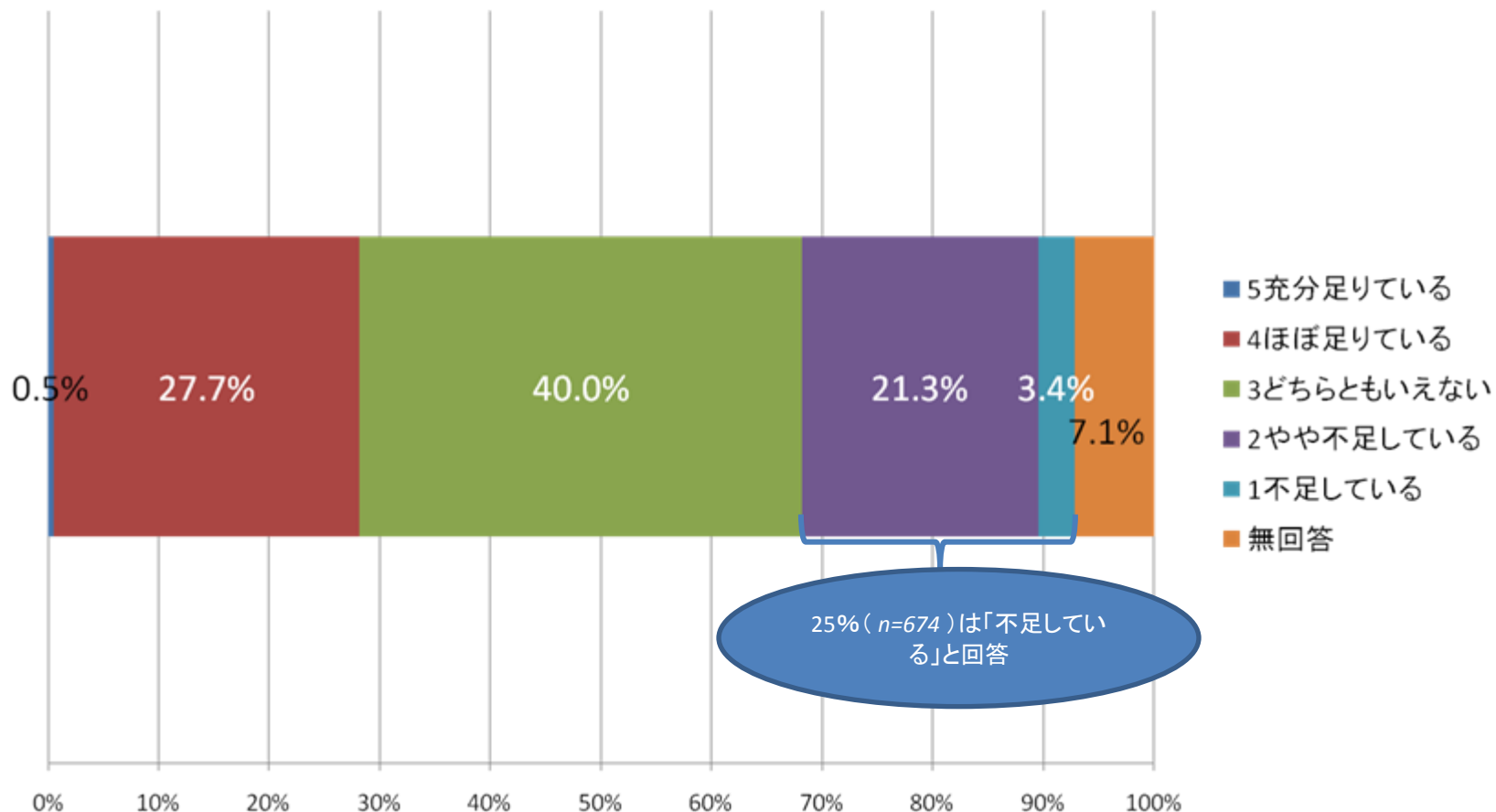
- 1.入試科目の内容や合格要件
- 2.毎年度の卒業後の就職先、進学先
- 3.毎年度の卒業後の就職率、進学率
- 4.学費や納付方法
- 5.毎年度の志願者、合格者、入学者の数
- 6.奨学金
- 7.資格や免許の合格実績
- 8.合格偏差値
- 9.キャリア教育や職業支援
- 10.カリキュラムの内容

出典:ベネッセ教育研究開発センター「高等学校からみた大学教育の課題に関する調査」

(C) Benesse Corporation 無断転載を禁じます

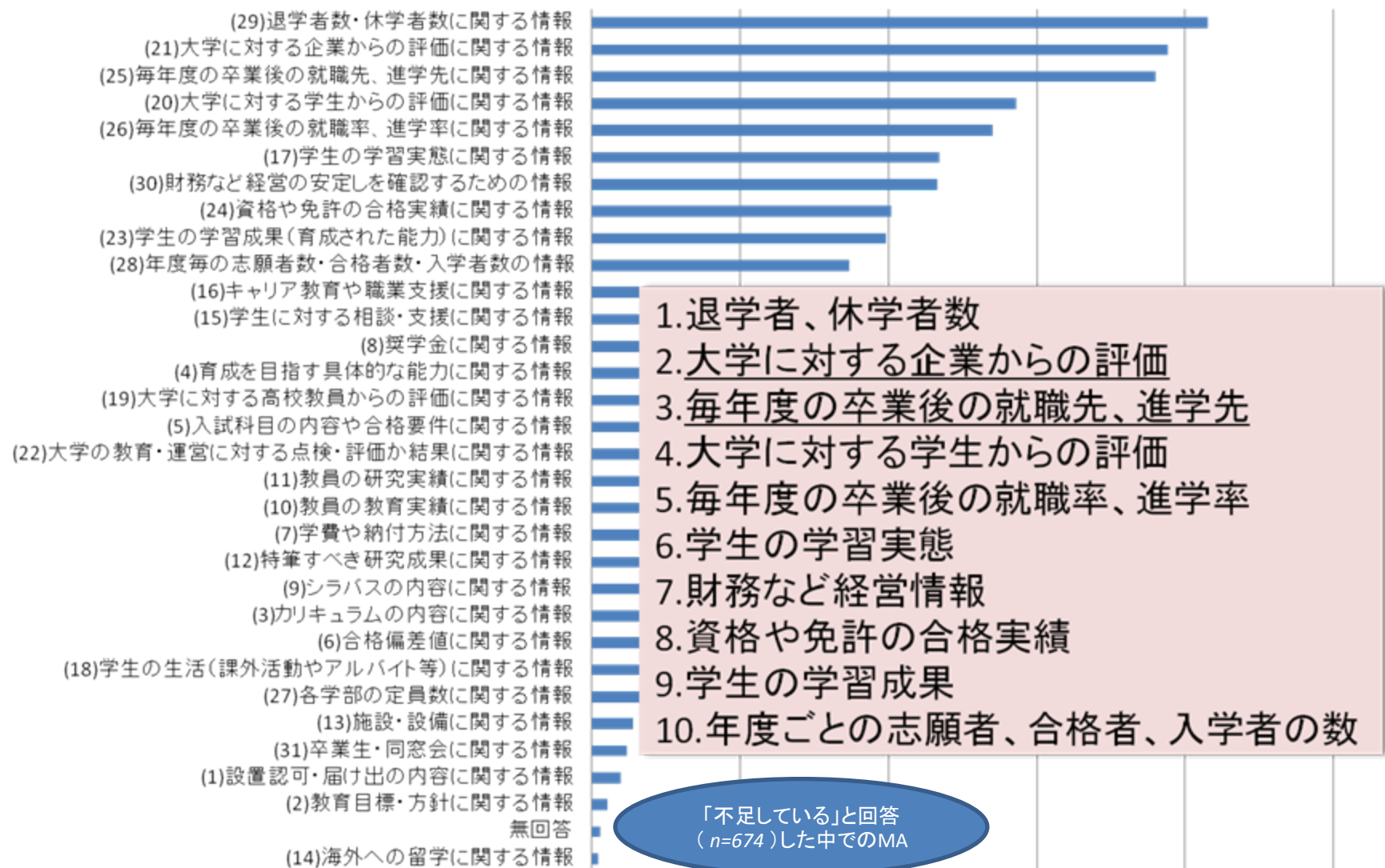
2-2. 進路指導に必要な情報は高校に提供されているか？

進路指導に必要な情報は足りていますか？



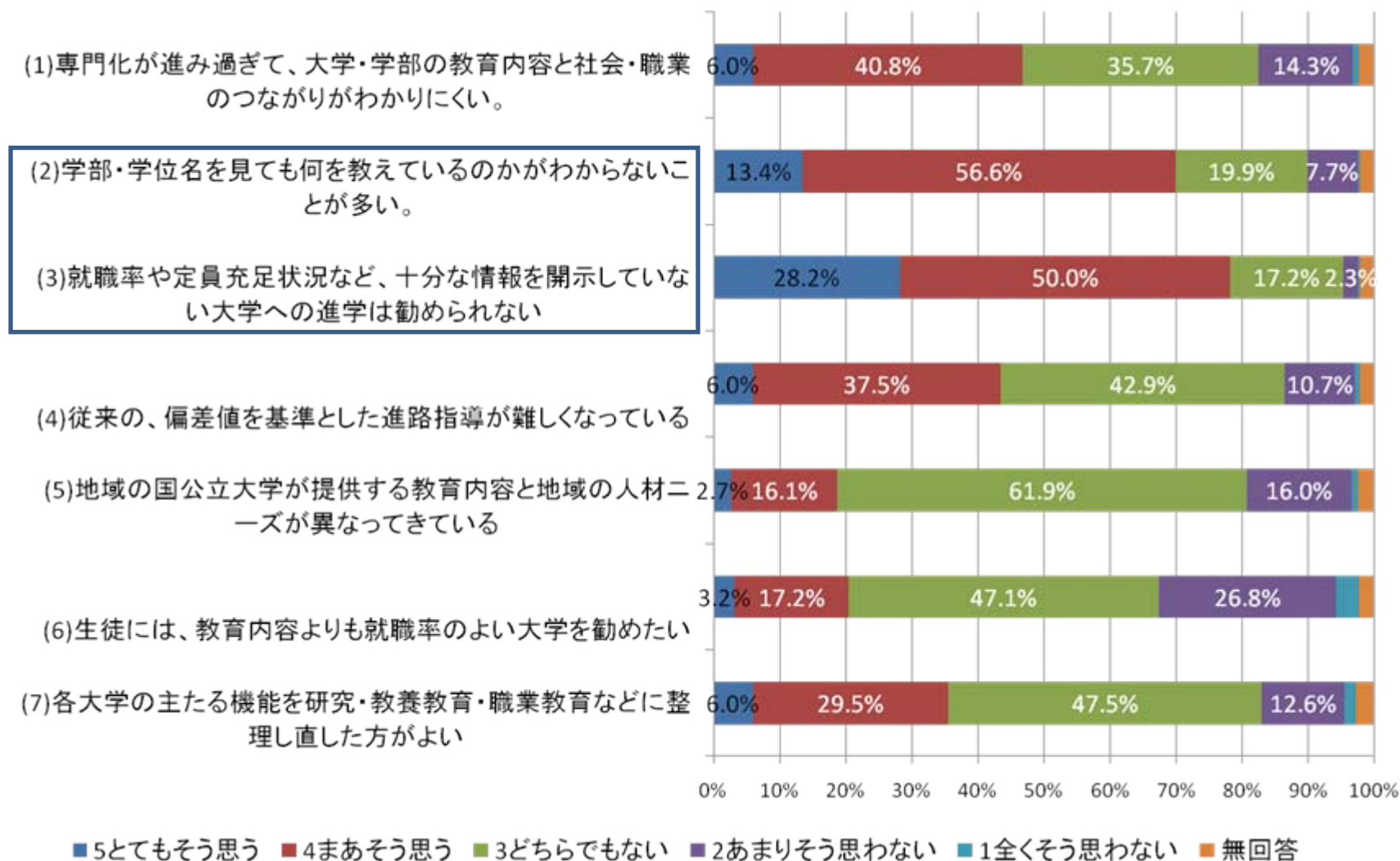
2-3. 進路指導において「不足している」情報

進路指導において不足している情報



(C) Benesse Corporation 無断転載を禁じます

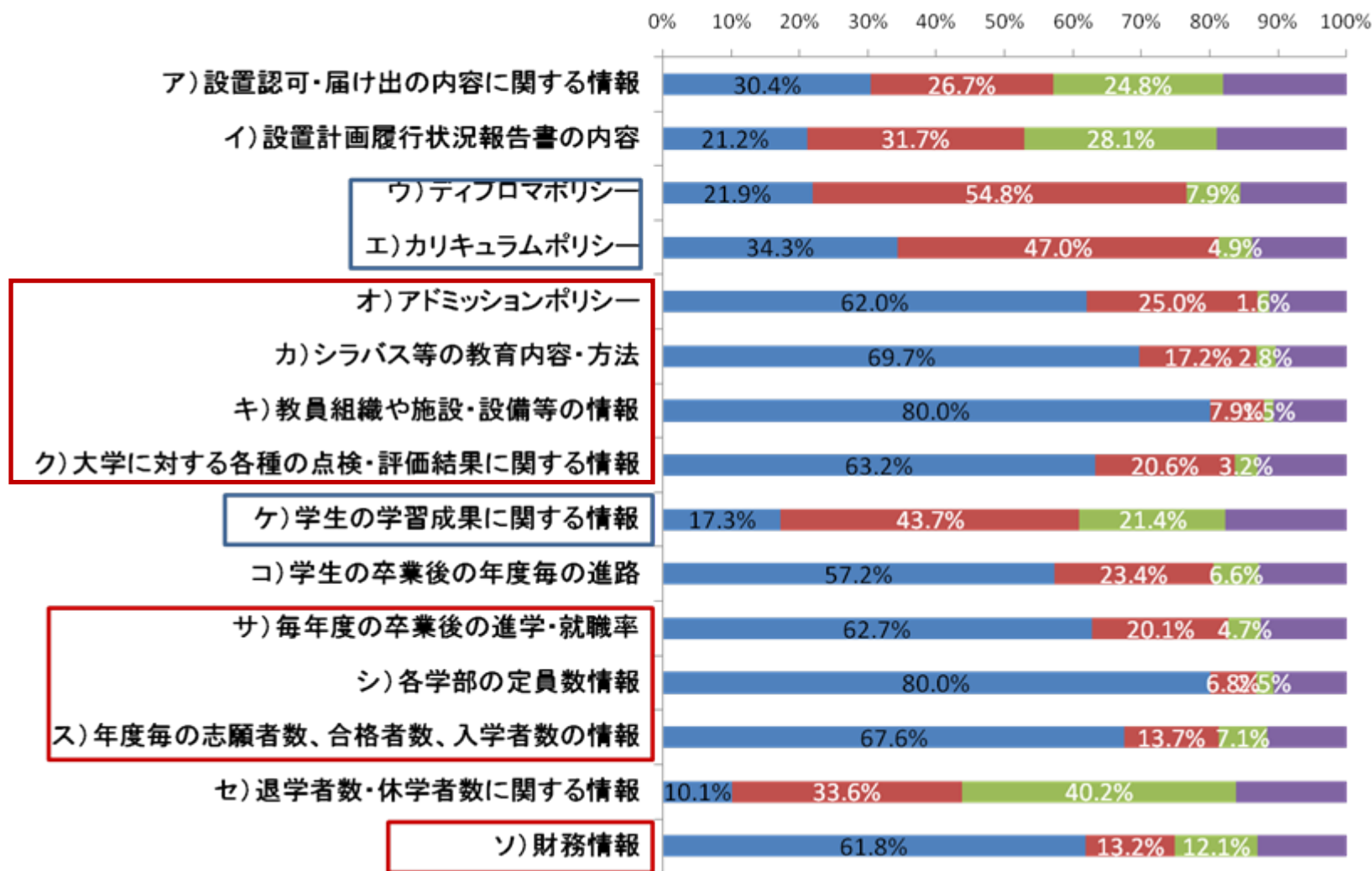
2-4. 進路指導担当先生の現在の大学進路指導への意識



3. 大学の意識と、社会・企業との 接続の状況

3-1: 大学は、今後どのような情報を公開しようと検討しているか

■ 現在公開 ■ 2 今後新たに公開を予定または検討 ■ 3 今後新たに公開する予定もなし ■ 無回答

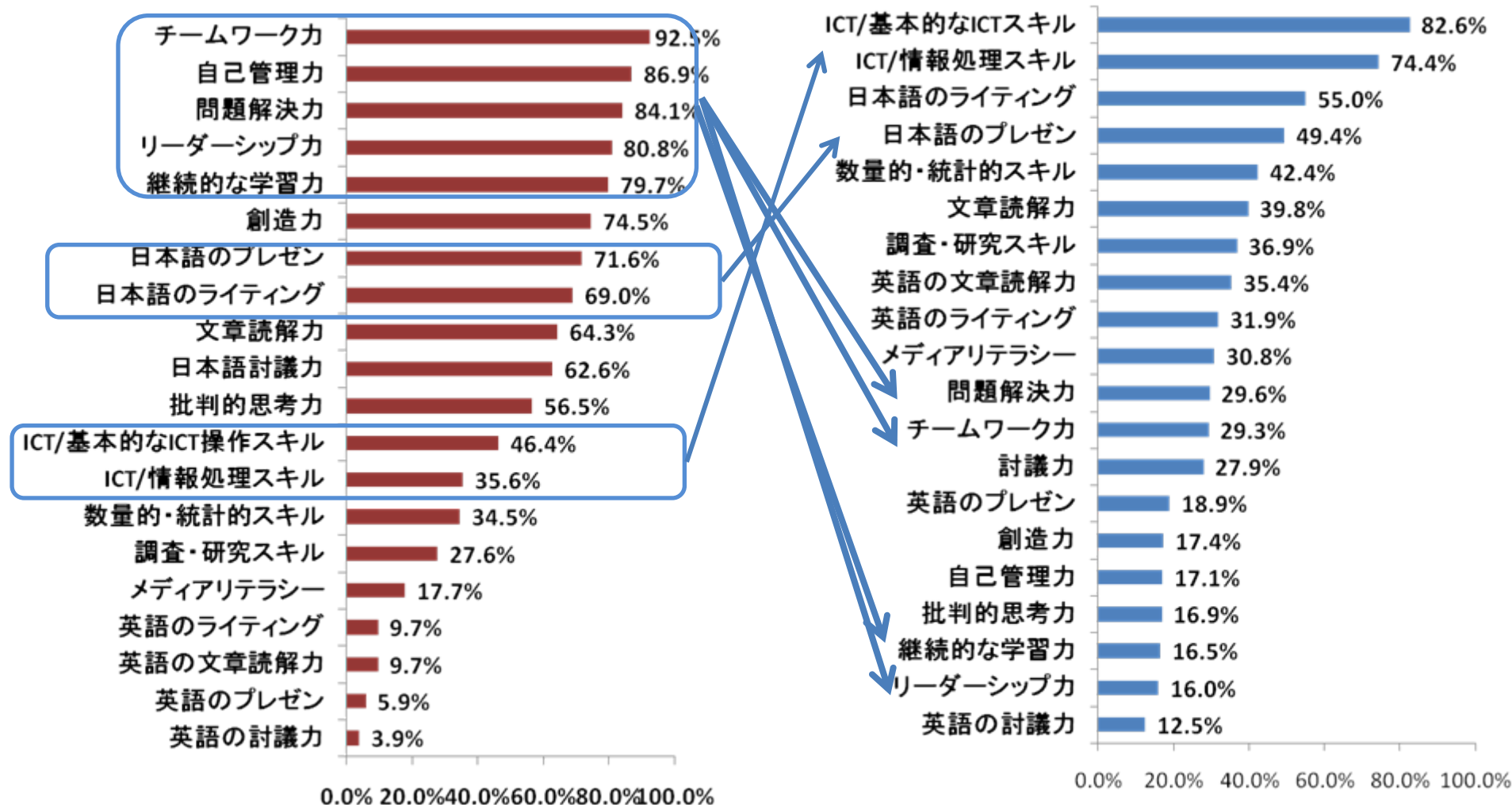


出典: ベネッセ教育研究開発センター「質保証を中心とした大学教育改革の現状と課題に関する調査」09年度

(C) Benesse Corporation 無断転載を禁じます

3-2. 企業が採用時に求めるスキルは大学の教育とギャップがある

① 企業が採用時に要件として重視する能力(企業調査) ②大学の正課内で明示的に指導している能力(学部長調査)

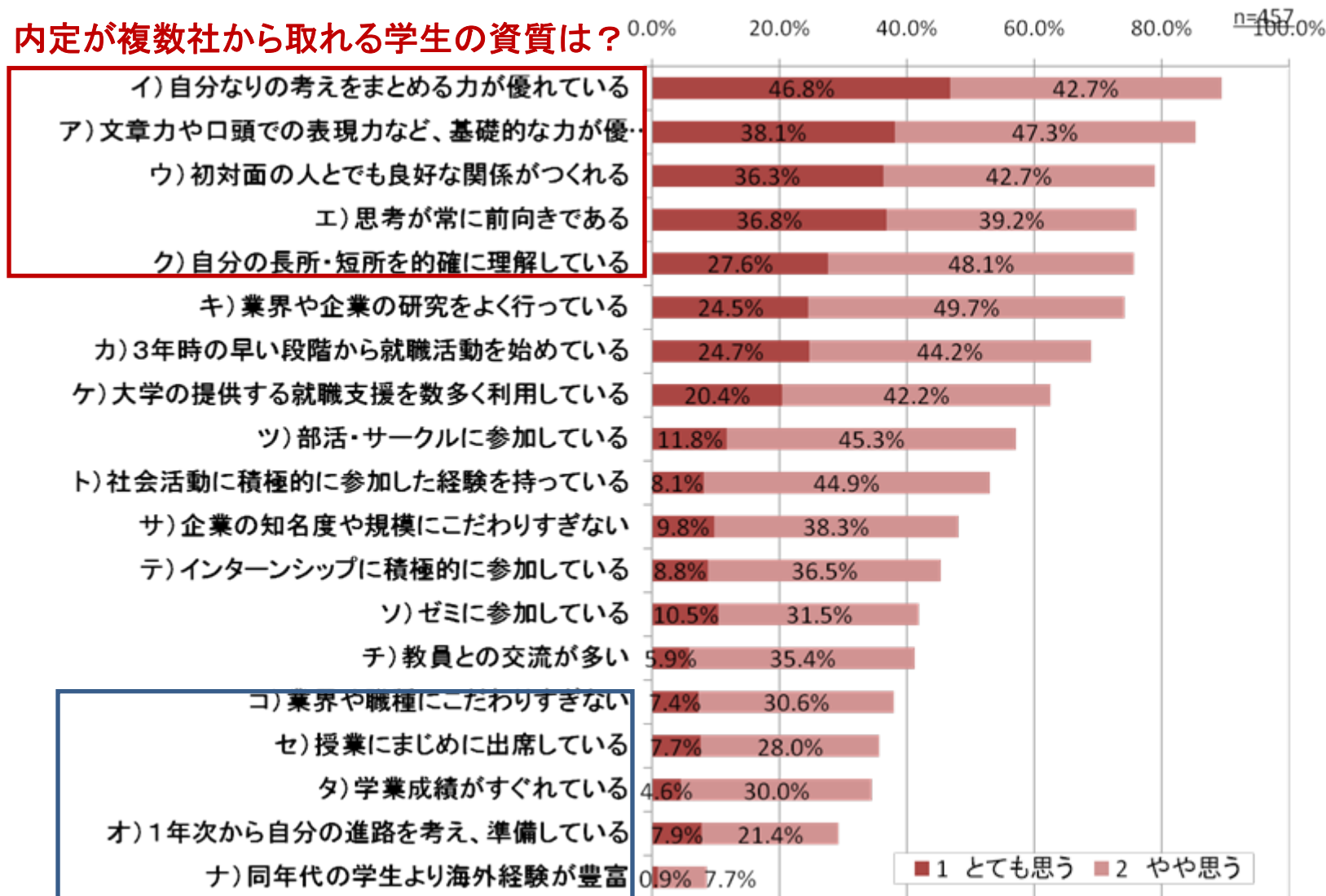


出典: ベネッセ教育研究開発センター

①企業が採用時に求める能力に関する調査
②大学生の能力育成に関する学部長調査

3-3: 就業力の高い学生は、結局「汎用的能力」に優れている

内定が複数社から取れる学生の資質は？



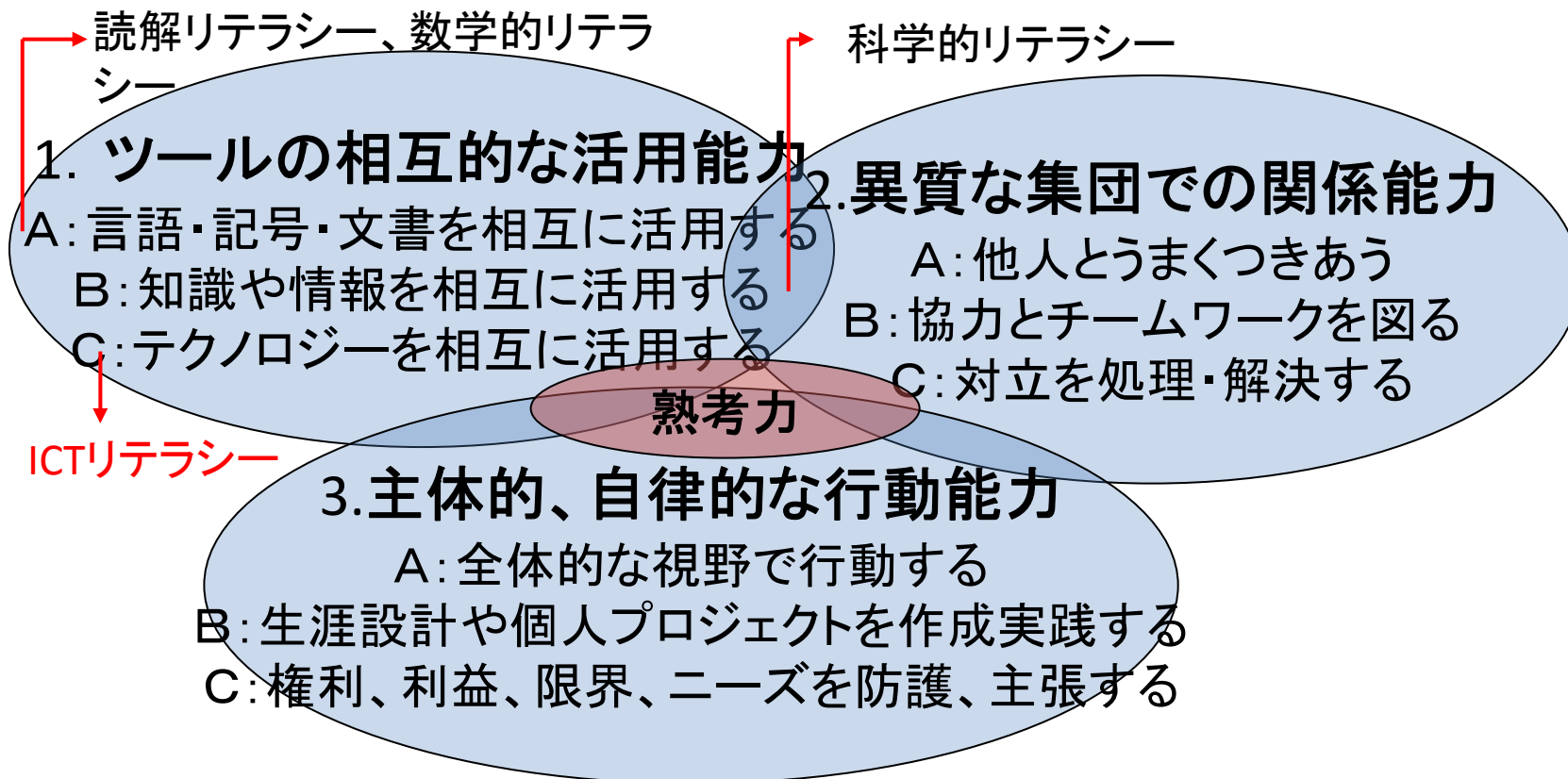
【海外の状況】『社会人基礎力』『学士力』の定義分類と欧米の定義分類との比較

アメリカの21世紀スキルの分類を基準に、日本の「学士力」、「社会人基礎力」を分類

	アメリカ21世紀スキル(ATC21S)	「学士力」 (カッコ内は文部科学省分類)	「社会人基礎力」
基礎的 知識・スキル	1 コア科目 コミュニケーションのための 読解・表現スキル、外国語、芸術、 数学、経済、科学、地理、歴史、公民 2 21世紀テーマ 「グローバル化の認識」、「財政・経済・ 経営・企業」、「市民教養」、「健康」	・コミュニケーション力(技能) ・異文化理解(知識) ・社会情勢、自然、 文化理解(知識)	該当なし
情報・メディア テクノロジーの スキル	1 情報リテラシー 2 メディアリテラシー 3 ICTリテラシー	情報活用力(技能)	該当なし
学習および イノベーションの スキル	1 批判的思考力・問題解決スキル 2 創造性・イノベーションスキル 3 コミュニケーション・チームワークのスキル	生涯学習力(態度) 論理的思考力(技能) 問題解決力 (創造的思考力) チームワーク(態度)	「考え抜く力」 課題発見・計画力・創造力
生活・職業 のスキル (ソフト的スキル)	1 柔軟性・適応性 2 自発性・自立性 3 社会的及び異文化スキル 4 生産性・倫理観 5 リーダーシップ及び責任感	リーダーシップ(態度) 倫理観(態度)	「前に踏み出す力」 主体性・働きかけ力・実行力 「チームで働く力」 発信性・柔軟性・規律性・ 傾聴力・ 状況把握力・ストレスコントロール力

【海外の状況】 社会人として必要な能力の定義（義務教育段階）

DESECOプロジェクトが設定したキーコンピテンシー



『コンピテンシー』とは、単なる知識や技能だけでなく、技能や態度を含む様々な心理的・社会的資源を活用して、特定の文脈の中で複雑な課題に対応することが出来る力である。（子どもたちが社会に出る2020年に必要とされる力である） そのなかで

『キーコンピテンシー』は、「人生の成功や社会の発展にとって有益」、「様々な文脈の中でも重要な要求に対応するために必要」、「特定の専門家ではなくすべての個人にとって重要」という観点で選択された能力

【海外の状況】 高等教育資格枠組み(英国の例)

優等 (H) レベルの資格記述：優等学士学位 (Bachelors degree with Honours)

優等学士学位は次の各項目を証明した学生に授与される。

(i) 自分の学修分野 (field of study) の鍵となる見方 (aspects) についての体系的な理解。少なくともある部分は、1つの学問分野の定義された見方の最先端、または最先端と伝えられる一貫した詳細な知識の獲得を含む。

(ii) ある学問分野の中で**確立された分析**と調査の技法を正確に展開させる能力。

(iii) 学生に以下のことを可能にする概念的な理解。

・いくらかは学問分野の最先端であるアイデアと技法を用いて、**論拠を考え出し、裏づけ、問題を解決すること。**

・その学問分野における最新の研究、もしくは同等の高度な学問 (equivalent advanced scholarship) の**特定の見方を記述し批評すること。**

(iv) 不確実、曖昧さと知識の限界の認識。

(v) 自分自身の学習を管理 (manage) し、学術的書評と一次資料 (たとえば参考研究論文・その学問分野に適切な原資料) を利用する能力。

この資格の所有者は典型的に以下のことができる。

(a) 自分の知識と理解力を見直し、強固にし、拡張し、適用するために、そしてプロジェクトに着手し、実行するために学んだ方法と技法を応用すること。

(b) ある問題の解決法に達する—もしくは一連の解決法を特定する—よう判断を下し、適切な質問を考え出すために、論拠、仮定、抽象的な概念、そして (不完全かもしれない) データを批判的に評価すること。

(c) 専門家および専門家でない人々に、情報、アイデア、問題、解決法を伝えること。

そして、

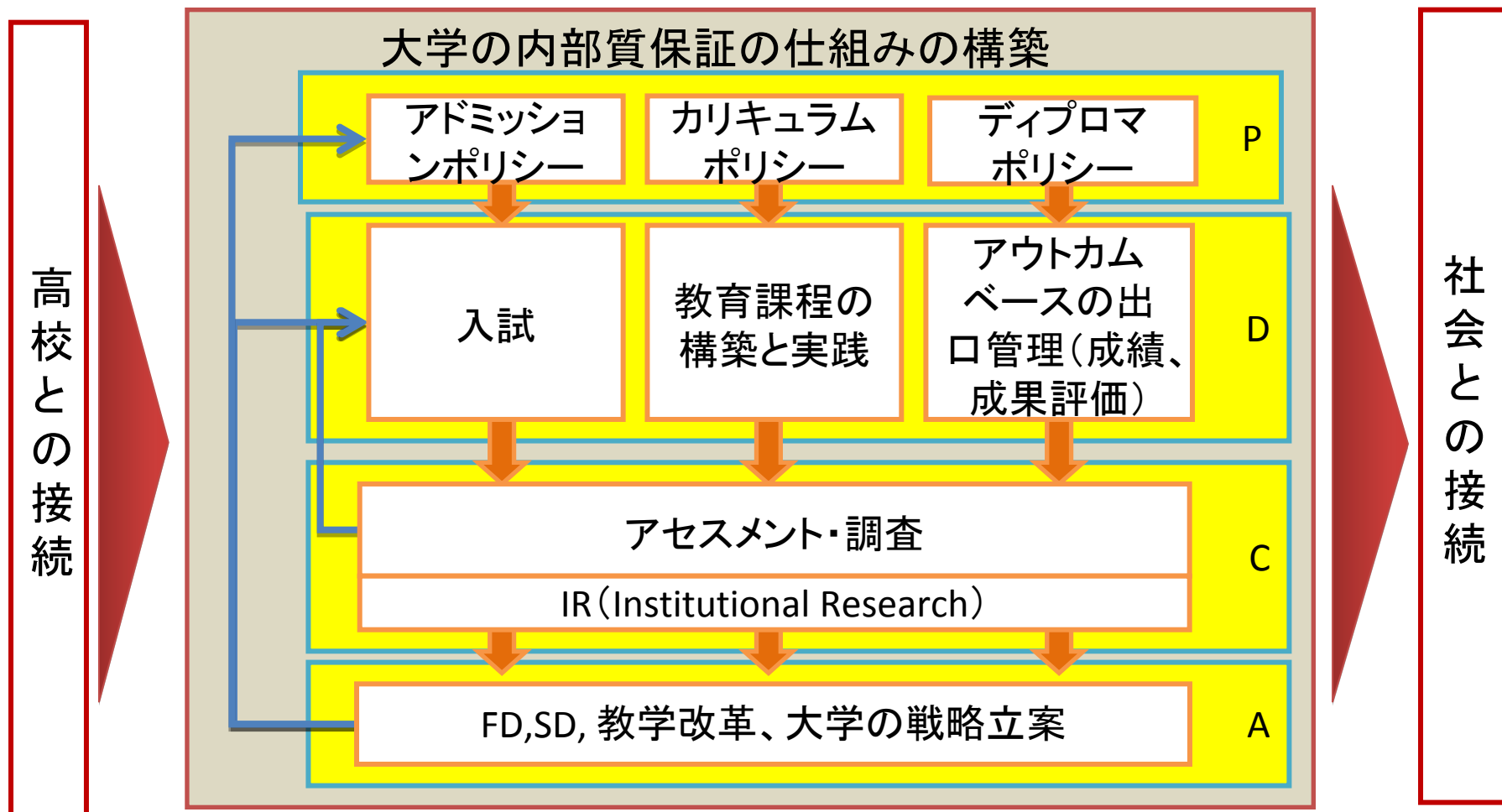
(d) 以下のことを要求する職に必要な特性と**移動可能な技術**をもつ。(筆者注 qualities and transferable skills necessary for employment requiring:)

・イニシアティブ (主導権) と個人的な責任の行使。

・複雑かつ予測できないコンテキストでの意思決定。

・専門的または同等の種類の適切な継続訓練を行なうのに必要とされる学習能力。

ジェネリックスキルの育成と成果評価が課題



- 受験情報
- 就職情報

社会人として必要なジェネリックスキルの育成システムと成果評価

- ジェネリックスキル
- グローバル人材

Benesse[®] 教育研究開発センター

Benesse Educational Research & Development Center

<http://benesse.jp/berd/>